

令和5年度三重県沿岸種資源評価 マダイ

資源水準・動向

低位・横ばい



生物情報

- 産卵期は3～6月であり、通常3～4歳で産卵に加わる。伊勢湾口では安乗沖から神島周辺にかけて産卵場が形成される。
- 満1歳で尾叉長16cm、2歳で24cm、4歳で37cm程度に成長する。
- 多毛類、端脚類、十脚類、アミ類、クモヒトデ類、魚類など様々な動物を捕食する。

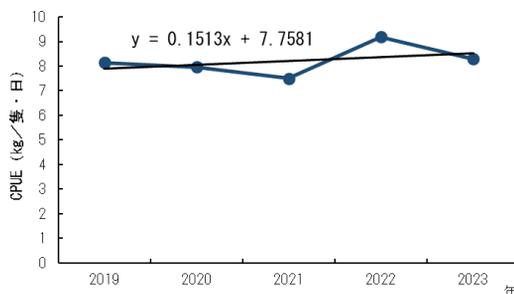
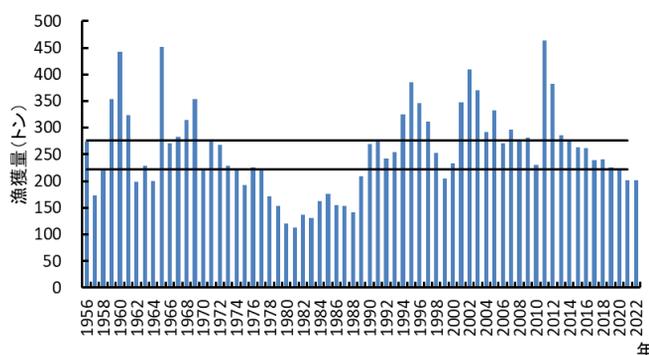
漁業の特徴

- 伊勢湾口周辺で漁獲が多く、刺し網、一本釣りの漁獲が多く、年によってはまき網やばっち網・船びき網でも多く漁獲され、熊野灘の大型定置網でも漁獲される。
- 伊勢湾口では周年漁獲され、定置網では春に漁獲がまとまる。



資源状態

- 漁業・養殖業生産統計年報の漁獲量から資源水準は「低位」とした。
- 答志市場の刺し網の直近5年間のCPUEの推移から資源動向は「横ばい」とした。



資源管理の取組

- 全長22cm未満の再放流(鳥羽磯部漁協答志市場)
- 産卵親魚保護のため、まき網の操業エリアの制限(三重県漁業調整規則)
- 小型魚の再放流(一部の大型定置網)

将来考えられる資源管理の取組

- 若齢魚の保護